



農林水産省 令和3年度鳥獣対策優良活動表彰発表資料

地域は俺たちが守る

～防災意識を基盤とした有害鳥獣対策について～



富里市有害鳥獣被害防止対策協議会【千葉県】

『全国屈指すいかの里』 農業のまち富里



◎千葉県富里市の概要

富里市は、千葉県の北総台地のほぼ中央に位置し、都心から約50キロ～60キロメートル圏、成田空港からは、西に約4キロメートルに位置しています。

北総台地の豊かな土壌を活かした農業が基幹産業であり、代表格のすいかをはじめ、収穫量全国1位にも輝いたことのあるにんじん、トマト、とうもろこし、大根、落花生、さといもなどの栽培が盛んで、首都圏の台所を支えています。

毎年、1万人以上が参加する、『給スイカ所』で有名なスイカロードレース大会や全国初となる『すいか条例』を制定するなど、『全国屈指すいかの里』として知られています。



富里市鳥獣害対策の経過

- 平成29年8月

富里市有害鳥獣被害防止対策協議会設立

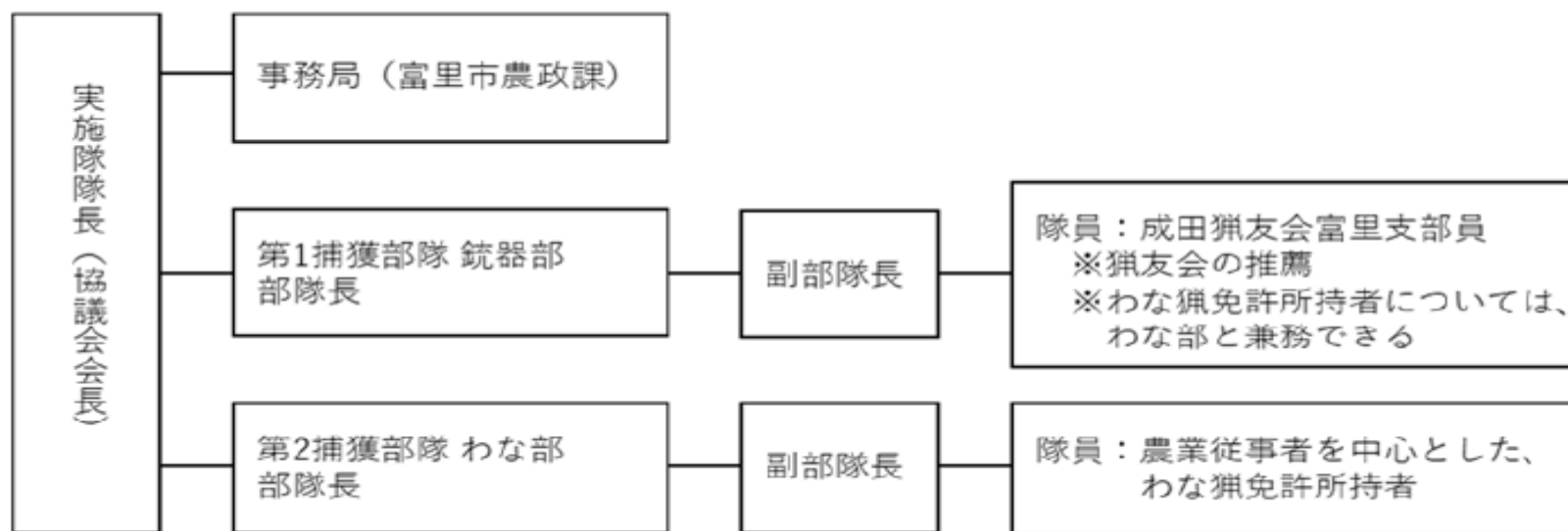
- 平成30年度

鳥獣被害防止総合対策交付金事業開始

- 平成31年4月1日

富里市鳥獣被害対策実施隊設置

富里市鳥獣被害対策実施隊の組織図等



第1部隊の主な活動項目

- ・鳥類捕獲及び追払い
- ・大型獣止め刺し
- ・小型獣止め刺し

第2部隊の主な活動項目

- ・小型獣・大型獣捕獲活動(殺処分含む)
- ・出没、被害状況の調査、報告
- ・罠設置技術指導
- ・集落内での共同活動指揮
- ・集落内の連絡調整
- ・生息環境管理(草刈等)
- ・電気柵設置指導等

実施隊隊員構成等

●実施隊隊長1名

●第1捕獲部隊銃器部 10名

●第2捕獲部隊わな部 45名

隊員計56名

年齢構成

●20代:3名 30代:11名 40代:13名

50代:9名 60代:15名 70代:5名

●隊員の内農業従事者:49名

基本方針①

●対策の基本方針

※農業従事者が地域の鳥獣対策のキーマンであると位置づけ、猟友会の協力を得つつ農業従事者を中心とした体制づくり『自分の圃場は自分で守る』という基本方針を柱として、実施隊の組織づくりに着手。

●狩猟免許取得促進事業の活用

平成29年度より狩猟免許取得経費に対する助成を開始。また、受験者に対し、市独自の試験対策講習を実施している。※模擬試験【市作成】の実施や実地講習など。

●捕獲従事者確保について

JA富里市と連携し、農業者団体へ啓発活動を行い狩猟免許取得希望者の募集を行う。また、各農業者団体の会合に出向き獣害対策講習を行い意識改革を進める。

●隊員の所属する主な農業者団体等

JA富里市西瓜部会【役員等】、富里市農業士会、富里市農業研究会
TNネットワーク【若手の農業団体】、JA富里市青年部 他

基本方針②

●防災意識の徹底

最悪な事態を想定して、準備【対策】を進める。事が起きてからでは遅いという意識をもつことを前提とした組織づくりを心掛ける。
※スピード感をもつこと

●一般的な例【行政主導】

農業者等からの被害相談・問合せ



行政・JA



猟友会等へ依頼・委託

●隊員主導（スピード感重視）

農業者等からの被害相談・問合せ



実施隊員＝農業者等＝地域の代表

※捕獲・調査・相談・対策指導等



※活動報告



※活動指示



行政・協議会・JA

● 自助・公助・共助の関係

自助・共助

実施隊員 = 農業従事者等

●ポイント

隊員が主に農業従事者であり、地域・地区の代表。自身で守り(自助)、地域で協力して守る(共助)。隊員についても、各地域の主要な人物を任命しているため、地域・地区での協力が得やすい。



公助

市・協議会・JAなどが協力して、公的援助を行う。活動に伴う資器材の整備、活動支援等。

消防団員兼実施隊員による高い防災意識【十倉二区他】

●十倉二区地区の隊員数：14名【内わな部12名】

当該地区は、市内でも鳥獣被害が深刻な地区であり、在住隊員は、ほぼ全員が農業に関わる仕事に従事しており、消防団に在籍している大きな特徴を持っている。また、他地区においても、消防団に在籍又は、消防団OBの隊員が多数在籍している。

◎ポイント

『地域を自分たちで守る』という防災意識が強く、被害が出る前から予防に努め、被害が出たら地域一丸となって対処するという防災の考え方が根底にある。火事の際の素早い情報共有・伝達が習慣になっており、隊員間でLINEグループを作成し、各自が確認した痕跡の画像や被害場所の情報を共有し、対策にあたっている。

●独自の取組

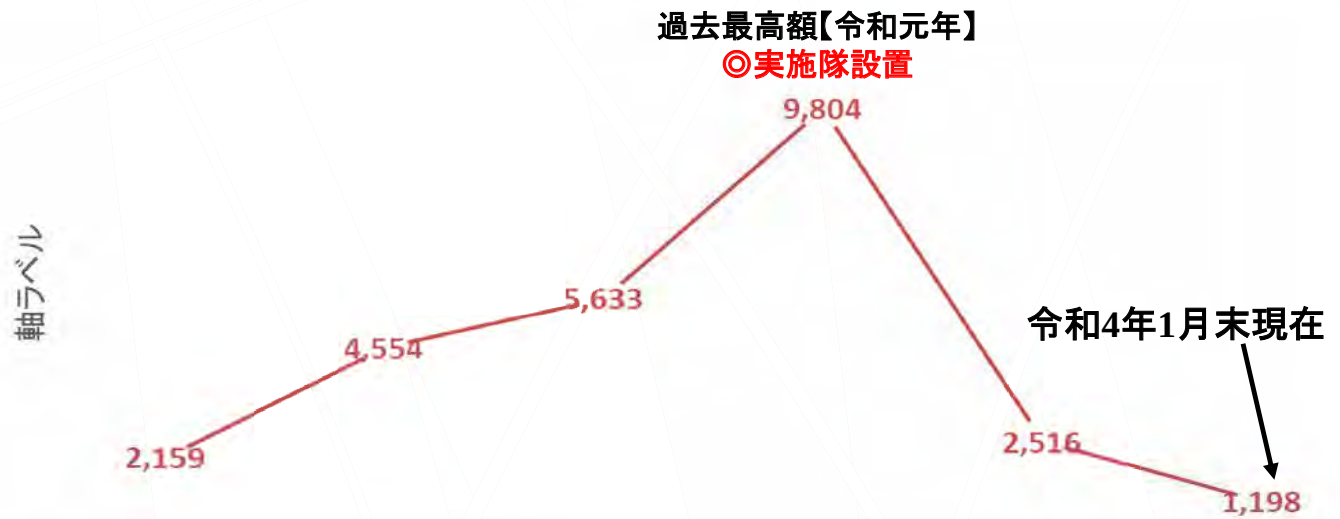
地域・実施隊員・行政・JAが連携し、アライグマ・ハクビシンによる被害が深刻な当地区で、小・中型獣集中捕獲を実施【80基】

山武市との行政界付近【2～3^キ□圏内で捕獲】にて、捕獲許可を得た従事者によりイノシシ捕獲を実施。【被害未然防止イノシシ捕獲対策】

※平成30年8月～令和4年1月末までで累計57頭捕獲

●富里市内の農作物被害額

被害額【千円】



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
— 被害額【千円】	2,159	4,554	5,633	9,804	2,516	1,198

●令和元年度において、市内の農作物被害金額は過去最高額を記録。その要因として、農業従事者の鳥獣害報告が増加したことや、実施隊員による詳細な調査により、今まで明らかになっていなかった被害実態が判明したことによる。

●令和4年1月末現在において、実施隊による総合的な鳥獣害対策の成果があらわれ、被害金額が大幅に減少している。

●十倉二区小・中型獣集中捕獲効果分析

